

開講大学	科目名	担 当 者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
連携	市川学Ⅱ (市川の商業と社会問題)	オムニバス	前期・春学期	選択	講義	2
〔授業のねらい〕 大学コンソーシアム市川に参加する6大学の共同開発による授業。市川学Ⅱでは、市川の商工業と経済、市川の問題をテーマとする。 市川市の現状を踏まえ、「都市型ビジネス」「コミュニティビジネス」「地域情報」を中心とした市川の商工業や経済、また、市川市の「保育」「高齢化福祉」を中心とした市川の問題を理解することで「地域つながり力」を持つための方法を学ぶ。 市川市の理解を深めるためには、市川学Ⅰ、Ⅱとも履修することが望ましい。						
〔学修成果(達成目標)及び成績評価の方法〕 学修成果(達成目標)； 課題をまとめ、自らの考えを述べられる。 自らの置かれた地域社会についてさまざまなことを知る。 成績評価の方法； レポート80% 学習内容を的確にまとめ、論理的に自分の考察を述べているか。 受講態度20% 各講座の課題を期限内に提出する。						
〔教科書・参考書〕 教科書： なし 参考書：						
〔その他〕 授業の会場が常に変わるので、学内掲示等で確認しておくこと。						
〔授業の内容・スケジュール〕			〔準備学習の内容〕			
1	商店街と地域活性化～国府台・市川真間地域の商店街を事例に 千葉商科大学教授 猪熊ひろか		事前学習： 市川市の商店街の現状について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
2	企業と市川市との関わり 東京ベイ信用金庫 地域サポート部 相川優文		事前学習： 市川市と東京ベイ信用金庫の関わりについて調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
3	企業と市川市との関わり ㈱市進ホールディングス 取締役副社長 荻原俊平		事前学習： 市川市と㈱市進ホールディングスの関わりについて調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
4	商工会議所と市川市の産業について 市川商工会議所 中小企業相談所長 山澤則夫		事前学習： 市川市と市川商工会議所の関わりについて調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
5	市川とともに歩む京成グループ 京成電鉄㈱ 経営統括部(広報・CSR担当) 課長 松岡 秀幸		事前学習： 市川市と京成電鉄㈱の関わりについて調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
6	都市型ビジネスの展望(コミュニティビジネス、ブライダル) 昭和学院短期大学准教授 小川弓美子		事前学習： 市川市のコミュニティビジネス、ブライダルについて調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
7	高齢者施設の分類について～市川市の高齢化の現状をふまえて～ 東京科学大学教授 包 敏 ※Zoom		事前学習： 市川市内にある高齢者施設を1か所調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる。			
8	市川の初等中等教育との連携～市川周辺の児童虐待～ 東京経営短期大学教授 小木曾宏		事前学習： 市川周辺の児童虐待事件について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
9	学生生活と税金 千葉県税理士会市川支部 税理士 中村剛士		事前学習： 市川市と千葉県税理士会市川支部の関わり及び税金について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
10	多様性を主体とする市川へ～市川市における子ども食堂と夜間中学校の事例を中心に～ 和洋女子大学助教 奈良玲子		事前学習： 市川市における子ども食堂に関する実状、夜間中学校の歴史、現状について調べる 事後学習： 所定の用紙に学習結果をまとめる			
11	現地踏査～昭和学院短期大学(もこもこ・こどもセンター、栄養科学研究所)～ 担当者、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
12	現地踏査～道の駅 いちかわ～ 担当者、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
13	現地踏査～京葉ガス㈱ 担当者、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
14	現地踏査～行徳神輿ミュージアム・中台製作所 担当者、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
15	現地踏査～いちかわライフネットワーククラブ～ 担当者、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			